

会 議 録

会 議 名	(仮称)小金井市貫井北町地域センター建設 第7回市民検討委員会		
事 務 局	公民館		
開 催 日 時	平成22年12月8日(水)午後7時00分から午後9時05分		
開 催 場 所	市役所第二庁舎8階 801 会議室		
出 席 委 員	渡辺委員長 浅野副委員長 福島委員 仙波委員 多田委員 伊藤委員 桂委員 平井委員 雫委員 三島委員 中村委員 松尾委員 藤井委員		
欠 席 委 員			
事 務 局 員	渡辺生涯学習部長 大関公民館長 田中図書館長 上石図書館 主査 山崎庶務係長 渡辺事業係長 松下庶務係主事		
事 業 者	株式会社 前川建築設計事務所 橋本(代表取締役・総括責任者) 田中(意匠担当主任技術者) 畑野(意匠担当技術者)		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	1人
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 前回の質問事項等について</p> <p>2 基本設計について</p> <p>(1) 全体配置・平面について</p> <p>(2) 主な仕様、仕上げ材料について</p> <p>(3) 公民館諸室の構成、用途、大きさ、設えについて</p> <p>(4) 環境への配慮について</p> <p>(5) 室名について</p> <p>3 次回以降の日程について</p> <p>4 配付資料</p> <p>(1) 質問事項回答一覧(12/5まで受付分) …資料23</p> <p>(2) 全体配置平面図 …資料24</p> <p>(3) 仕様・仕上、公民館部門 諸室の構成等 …資料25</p>		

会 議 結 果

渡辺委員長 (仮称)小金井市貫井北町地域センター建設・第7回市民検討委員会を開催する。

会議開始にあたって

大関公民館長 お手元に資料23、資料24、資料25を配布してあるので確認をお願いしたい。

— 配布資料の確認 —

大関公民館長 前回(第6回)会議録の承認をいただきたい

—承認 多数—

1. 前回の質問事項等について

山崎庶務係長 前回の検討委員会傍聴者から提出された質問票に記載された質問について、市としてのお答えできる部分について資料を作成した。(件数が多いのでかいつまんで説明。)(資料23)

渡辺委員長 熱心なご質問をいただきありがとうございます。

必ずしも屋上緑化がヒートアイランド現象の緩和に寄与しないという話を私自身は聞いたことがないので、機会があったら教えていただきたい。

2 基本設計について

前川・橋本 今回は今まで皆さんと検討させていただいた内容を再確認するということで、模型を用いて説明したい。

(1) 全体配置・平面について

資料24参照

●北一会館との敷地境界について

前川・田中 前回、北一会館との敷地境界については協議中である旨お伝えしたが、市と北一会館側とで打合せをしていただき、本日お配りした配置図のようになった。

- ・北町地域センターと北一会館がそれぞれ単独で申請を出すかたち
- ・敷地境界はそれぞれが単独で合法となる位置に設定
- ・北一会館の周りの既存垣根は残す
- ・法的に必要な敷地面積を確保するために生垣の南側に境界を設定
- ・身障者用駐車場をセンターの東側に設け道路から直接出入りする(北一会館側に張り出していた車の転回スペースが必要なくなる)
- ・身障者用駐車場の移動に伴い、東側の駐輪場を70台から50台に変更
- ・予備スペースは多目的利用ができ駐輪場として50台分を確保(保守・メンテナンス、各種行事のためのスペースとしても利用)

●1階平面図について

前川・田中 前回と大きく変わっていない。

前回指摘のあった図書館の貸出しカウンターを若干修正している。AV資料については引き続き図書館と協議する。

● 2階平面図について

前川・田中 1階と同様大きく変わっていないが、創作室を陶芸以外の用途で使用している際にも窯室に出入り出来るように、廊下側に出入口を追加した。

公民館事務室の受付をローカウンターの表記とした。

(2) 主な仕様、仕上げ材料について

資料25参照

● 1階について

共通ロビーの床：硬く耐久性があり、水・汚れに強い材料（タイル、石材）

図書館の床：吸音性のある材料（タイルカーペット）

お話しコーナーは床を一段上げ、コルクタイルやタイルカーペット等

屋外テラスの床：ウッドデッキ（リサイクル材料も検討）

室内からはフラットで出入りが可能

● 2階・公民館の床について

汚れや水に対処しやすい材料：長尺床材（リノリウム、塩ビ系、ゴム系）

吸音性のある材料：タイルカーペット

その他：畳、フローリング、コルクタイル、ゴムタイル

- ・ 使う用途によって静かな部屋、水に強い部屋、ダンスやヨガをする部屋というように大きく三つの種類に分けて考える
- ・ 壁面の構成部材については模型を見ながら検討

(3) 公民館諸室の構成・用途・大きさ・設えについて

● 模型（スケール1／50）による説明

前川・田中 模型の水色の部分がコンクリートの柱で動かすことは出来ない。

7. 2m×7. 2mのグリットのラーメン構造である。

基本的に壁は構造的には頼らない考えでいる。

○ 公民館事務室

- ・ 1階から上がってくる利用者（階段・EVとも）、フリースペース、団体利用コーナー、若者のスペースが見てとれる
- ・ 受付は対面式のローカウンター
- ・ 控室は更衣や食事等に利用

○ 団体利用コーナー

- ・ フリースペースの中にローパーティションで区画
- ・ パーティションの高さはある程度自由がきく

○ 若者のスペース

- ・ 出入口の扉は設けていない
- ・ 奥の楽器練習室は防音性の高い扉を設置

○食のスペース・生活室

- ・可動間仕切り（折りたたみ式）で個別にも、一体利用も可能
- ・お互いが見えるようにガラスのパーティションを採用
- ・生活室は和の設えとして段差をつけて（畳コーナー）腰掛けることも可能
- ・屋外側の建具は開けたい時には開けられるつくり
- ・廊下側の間仕切りを開放し食のスペースとフリースペースを一体的に使用することも可能

平井委員 間仕切りは取り外し式か。

前川・田中 天井のレールからぶら下がったものを移動させるもの。

○学習室A・B

- ・遮音性をもたせた壁で外部に音が漏れにくいつくり
- ・中間に間仕切りを設け個別、一体利用も可能（天井内部も区画）

多田委員 他よりもグレードの高いパーティションか。

前川・田中 他室の可動間仕切りよりも防音性の優れたものを考えている。

○ITルーム

- ・廊下を歩く人から中がうかがえる設え
- ・視線が気になる場合には、目線の高さを曇りガラスにも出来る

多田委員 分割利用も可能か。

前川・田中 2室に分けると少人数での打合せにも利用が可能

○学習室C・D

- ・遮音的にはITルームとほぼ同じグレード
- ・間仕切りをとってフリースペースとつなげると100㎡程度の広さにも

○創作室

- ・陶芸以外の用途で使用されている場合でも、窯室に行けるよう廊下側に出入口を設置
- ・窯室の搬入ようとして東側外壁に開口を設ける
- ・天井高さは2.3m（この801会議室が2.6m）

○トイレ

- ・みんなのトイレを各階に設置

多田委員 オストメイトの対応はどうなっているのか。

前川・田中 どちらか1箇所を設置する考えでいる。2階が宜しいのではないか。

○レクリエーション室

- ・机を並べなければ100名程度の収容は可能
- ・机を使用するものに関してはレクリエーション室以外で対応していただくことも検討
- ・フローリング仕上げで、部屋の出入りには靴の履き替えを伴う
- ・収納式の鏡や収納式のステージ等も壁に埋め込んで取り付けが可能

○その他

- ・建物の北側（学習室A・B、食のスペース、生活室）は斜線の関係から天井の一部が斜めになる（2.4mから3.0mの間）
- ・各扉は諸室の用途により遮音性と開け易さに配慮して、エアタイト扉、簡易エアタイト扉、普通扉を使い分ける。

多田委員
前川・橋本
楽器練習室の下が飲食コーナーになっているが音の影響はないか。
浮き床構造にして下に伝わらないようなつくりとする。
ダンス等を行うレクリエーション室は遮音性とクッション性に配慮したつくりにする必要がある。

前川・田中
配置的に図書館の上部ではないこと、また工法としては色々なものがあるが、コスト等も踏まえてどこまでやるのかを検討する必要がある。

渡辺委員長
下が高級レストランというわけではないので、常識的なレベルでよいのではないか。よい配置になっていると思う。

平井委員
前川・田中
仙波委員
前川・橋本
生活室のところで靴を脱いだ時には下に収納するのか。
そのような方法も考えられる。
框のようなもの。
土間と框で和の設えとし、腰掛けて休むことも可能である。

平井委員
前川・橋本
平井委員
前川・橋本
倉庫には机も収納できるのか。
机も折りたたんで収納する。
スクリーンはどのようなかたちになるのか。
造り付けにするか、移動式にするかはコストや発注形態等も含め、今後検討する。
前川・田中
現在はプロジェクターの性能もよくなっているので、白い壁に映し出すことも可能である。

平井委員
前川・田中
前川・橋本
フリースペースの評判が良く、ITルームの辺りまで広がると更によいという話があった。だが先程の話では柱がとれないのですね。
柱は動かさないが壁はなくても成り立つ。
柱があっても色々な使い方は出来る。

藤井委員
前川・田中
公民館の事務室も数年すれば書類等が増えるので、スペースと設えとしては大丈夫か。
事務室の中身については調整中である。壁は構造的に重要なものではないので、控室がどの程度必要かによって壁の位置をずらすことは可能である。

多田委員
前川・橋本
実際にどの程度の机が必要かも分からないのか。
どのように運営されるかも決まっていない状態である。

藤井委員
前川・橋本

消火器はどの位置に設置するのか。
法規に基づいて設置する。

平井委員
前川・田中
多田委員

避難場所の考え方はどうなっているのか。
二方向の避難ルートを確保している。
事務室の受付カウンターだけでなくフリースペースで職員と打合せすることも可能か。

前川・橋本

備品や家具にどれだけチャーミングな家具を用意して、それらをどれだけ有効に使えるかがポイントになる。様々な設えが出来るので利用者が創造力をはたらかせて、我々の考えつかないような使い方をしてもらえたらよい。

平井委員
前川・田中

創作室の低い天井部を斜めにすることは出来ないのか。
法規上この部分の屋根を高くすることは出来ない。照明の取付方法等で工夫したい。

多田委員
前川・橋本
平井委員
前川・田中
前川・橋本
平井委員
前川・橋本
前川・田中
平井委員
前川・橋本
前川・田中

バルコニーは2mしかないので人は出さない方がよいのか。
ラウンジ風に椅子を置いたりする場所ではない。
危険だからか。
外側にブロックを積むので危険ではない。
基本的にはメンテナンスのスペースと考えていただきたい。
あのブロックは太陽光は通さないのか。
日よけとしてあまり通さないように考えている。
暗くなり過ぎないようにもしなければならない。
太陽光が入れば冬場の暖房は助かるのではないか。
冬場は太陽高度が低くなるので入るのではないか。
それ以外に北側の安定した光を採り入れる考えでいる。
その窓も市民の方が開けられるようにしておきたいと思っている。

渡辺委員長

廊下から中が見える見えないの話は皆さんが整理しないと、設計者も苦勞している。ブラインドはいつでも付けられるので、見られるのが嫌な人は下ろせばよい。

多田委員

片側が閉じた壁の場合、反対側も壁にしてしまうと開放感がなくなってしまうのではないか。

渡辺委員長

むしろ設計者は全部ガラスにしたいところを、前回の話を考慮して模型では目線の辺りをくもりガラスのようにしているのだと思う。
ファミレスのようにも見えてしまい、本当にこれでよいのか。
若者のスペースもあんなに仕切る必要があるのか。コーナーでよいのではないか。限られた人しか入れないように感じる。

伊藤委員

生活室と食のスペースの間仕切りは、一つの団体が利用している場合はガラスでもよいが、違う団体が使用する場合には見えない方がよ

	いのではないか。
前川・橋本	収納が必要な部分は除いて、基本的には床から天井までをガラスでやりたい考えでいる。見せたくないときにはブラインドを下ろして対応することで考えたい。
桂 委 員	ガラス扉の方が中がうかがえて、他の団体と間違えることもなくよいと思う。
前川・橋本	扉の上半分をガラスにしたり、スリット状にしたりも出来、二重ガラスの採用で遮音対策もある程度はできる。
前川・田中	中を使っているのか使っていないのか分かる方がよいと思う。灯りがもれてくるだけでも分かる。
伊藤 委 員	楽器練習室の中は外部から全く見えないのか。
前川・橋本	扉は厚くなるが、その部分にのぞき窓を設けることは可能である。
前川・田中	南センターは扉とは別に二重サッシュののぞき窓が付いている。
渡辺 委 員 長	公民館部分について模型を見ながら全体的な説明を受けましたが、先程から話に出ている、中が見える見えないのあたりについてご意見をお願いしたい。 設計者のもともとの考えでは、出来るだけガラスを多くして、必要な時にはブラインドを下ろす等をしてプライバシーを確保することでどうでしょうかと言う話ですが、前回視線は避けたいという話が出たので、今回はこういった模型を作ってください。
福 島 委 員	見られて困るような事はしないというのが基本だと思うので、シースルーで構わないと思う。
渡辺 委 員 長	いずれにせよブラインドみたいなものが付けられるようにはするのか。
前川・橋本	ブラインドやロールスクリーンを後から付けられるようにする。
渡辺 委 員 長	色々な使われ方をすると思うので、集中するためにブラインドを下ろしたり、部屋を暗くしたりする可能性もあるので、そういった配慮はしていただきたい。 私個人としては、今の目の高さだけ隠しているのがどうかと思う。
浅野副委員長	あるところでシースルーにしたところ、やり直したという事例があったので、その点はきちんと確認した方がよいだろうと思い投げかけたわけだが、この模型を見ることでどの部分がシースルーになるか分かったと思うので、これくらいならよいのではないか、中途半端な妥協案みたいなものは出さないで、きっちり方針を出そうというのであればこちらの方がよいと思う。私もこれであれば全部見えてもよいと思う。中途半端な目隠しはあまり気持ちよいものではないので、先程福島委員がおっしゃったように、見られて困る活動はしないという前提でシースルーにしたら如何でしょうか。
桂 委 員	見られて困るというマイナスの思考ではなく、中がうかがえることで、こういう活動もあるなら次から自分たちもこういう活動してみようと前向きにひろがりのある活動に目を向けていく方針を公民

福 島 委 員 長 館がポリシーとして持っていれば、利用者を説得できると思う。
学習室A・Bで講師の方が見られたくないという話もあるかもしれないが、方針を出していただければ講師の方もご理解していただけるのではないかと思います。

渡 辺 委 員 長 今日の意見を踏まえて訂正するなど対応をお願いしたい。

(4) 環境への配慮について

資料25参照

●太陽光発電

- ・積極的に採用する方針
- ・約100枚設置予定(20kw)
ベストな状態で2階部分の半部(500㎡)の照明が賄える程度

●屋上緑化

- ・太陽光発電や設備機器・配管等を考慮し、沿道側の緑地巾を広げられるか検討

●雨水利用

- ・一般の方が利用しやすい簡易タンクを設置し、草花等の水やりに利用
- ・雨水浸透枳や浸透性舗装の採用

渡 辺 委 員 長 太陽光発電については前回の2倍になっているが、市の方からもその程度ならば宜しいとの了解が得られているのか。

前 川 ・ 田 中 了承は得ている。

渡 辺 委 員 長 環境問題については市民の皆さんが非常に興味をもたれているので、出来るだけ踏み込んで、こんな工夫もしているというようなことを色々取り入れていただくのもよいと思う。

(5) 室名について

浅野副委員長 ここに皆さんからいただいた室名の案がございますが、中には図書館に関するご提案もある。今回は公民館について検討したい。

二つの考え方があり、一つは「学習室」や「ITルーム」のように具体的に使われ方がイメージできる室名、もう一つが「桜」や「菊」

といった抽象的な表現の室名である。今の段階では議論するために分かりやすい室名に設定しておくことが必要であろうという段階での室名の決定ではないかと思う。最終的にはサインを決める際に具体的な室名を固めればよいという話なので、こういう部屋をこういうふうにするという議論の時に必要なはっきりとした室名を固めておいて、更にそれが「桜」や「菊」といったものに変えればよいということになれば、それは先の話で、可能であろうかと思う。今の段階で「桜」「菊」では話を進めにくいので、具体的に機能を示すような言葉で検討したいと思う。

室名が重要だと思ったのは、例えば家具の置き方などによっても部屋の使い勝手をイメージできる。それと同じように室名でもある程

度固定的なイメージができてしまうので、室名についてもこれから議論する中で具体的にこの部屋をこういうふうにするという枠組みを決めるという意味で慎重な名前のつけかたが必要かと思い、前回は室名が重要であるとの話をさせてもらった。

そういう流れで確認していきたいと思う。

資料25の右上に記載してある順番で進めていきたい。

●学習室A・B／学習室C・D

浅野副委員長

大半の方が「学習室」で構わないとのことですが、「研修室」「会議室」というものもある。他の小金井市の公民館でも学習室となっているようだが、前回はこの席で室名称を決めて構わないとのことなので検討する。藤井委員からは他の公民館と違いすぎるのもまずいのではないかという意見があった。

福島委員

「桜」や「菊」というのを書いたのは私で、市の木、市の花、市の鳥といったものを羅列したものである。私は他の公民館との整合性はあまり考えなくてよいのではないかと考えていて、むしろ市民から公募した市民の木、市民の花といった名称を利用し、括弧書きで学習室といったものを加えるようなことでよいのではないか。

浅野副委員長

市を代表する色々な草花の名前ということで、あえて他の公民館と揃える必要はないというご意見ですが如何でしょうか。

雫委員

機能を重視して「講堂」ではどうか。

浅野副委員長

学習室A・Bを「講堂」としたらどうかということですが。

渡辺委員長

「講堂」というほどの大きさでなないと思う。

普通の施設なら「会議室」でしょうが、公民館なので「学習室」というのもわりと馴染める名前ではないかと思う。

平井委員

何人かの方に話を伺って、「学習室」でも「会議室」でも構わないし、その後に「茜」とか色を表わす言葉をつける案もいただいた。

渡辺委員長

今日は一般的な呼び方を決めて、そのあとに愛称のようなものを決めていったらどうか。

浅野副委員長

「会議室」よりも「学習室」の方が幅が広いかもしれない。「集会室」というものもあるが、それは集まるだけで、社会教育施設といこともあり「学習室」となったのではないか。

三島委員

学習室A・Bは比較的面積が大きいので「会議室」、小さい学習室C・Dを「学習室」として、使い分けて分かりやすくしたらどうか。

浅野副委員長

そういう考え方もできる。

多田委員

学習という言葉は色々なイメージを含むと思う。集会をしても学習することはあり、講座を聴いていても学習することがある。映画を観たり、視聴覚というのも学習の行為の一環であるので、他の公民館とは変えずに「学習室」でよいと思う。

藤井委員

公民館という施設であるならば「学習室」だと思う。

北町地域センターが公民館でないという規定にするのであれば、先程から出ているような名前でも構わないと思うが、小金井市の公民

館として建設するものと認識しているので、それならば他の公民館と整合性をとるべきだと思う

浅野副委員長

市の他の施設を見ると「集会室」となっているところがあり、そこは介護福祉課所管とかコミュニティ文化課所管となっているが、どういふことでそうなっているのか。

渡辺事業係長

例外もあって統一がとれていないのが現状である。

最終的に愛称のようなものになっても、画面展開のなかで同じような部屋を同じように予約することは可能なので、この名前でなければ絶対に駄目だというものではない。

渡辺生涯学習部長

補足させていただきたい。「集会室」という名称を使っている公民館施設は実際にあり、貫井南センターや東センターは老人憩いの部屋という高齢者対象の施設が一部入っているので、「集会室」として使い分けているところもある。

藤井委員からあったお話しで、公民館施設なのかということについては、今回公民館施設として建てる。

浅野副委員長

この段階では「学習室」として話を進めるのが色々とやりやすいのではないかと思うが。

平井委員

緑センターは「視聴覚室」としているが、学習室A・Bは視聴覚室のように遮音性のある部屋なのか。そうであれば「視聴覚室」はいかがか。

前川・橋本

学習室A・Bは遮音性を重視した部屋、学習室C・Dは遮音性の軽い部屋の設定である。

平井委員

そうであれば緑センターでは「視聴覚室」としているが。

浅野副委員長

視聴覚室よりも幅広く使えるのではないか。

前川・田中

視聴覚室にも使える部屋と考えればよいのではないか。

浅野副委員長

それでは「学習室A・B」と「学習室C・D」とさせていただく。

●食のスペース／生活室

浅野副委員長

生活室と食のスペースを「生活室A」「生活室B」とする案もある。他の公民館と揃えて食のスペースを「家事实習室」とする案もあるが、この場合は他のように調理実習台があって調理実習をするものではないということはある。前回も生活室の話が出て、以前行われたセミナーの席でも、生活室は小金井市の公民館活動のなかで、生活に係る色々なことをする部屋と位置づけて、それが成功しているという話を伺っている。食のスペースと両方併せて考えて宜しいかと思うが。今日、模型を拝見してユニークな部屋になるような気がする。生活室の経緯について説明していただきたい。

渡辺事業係長

通常は保育に使える「保育室」と呼んでいる市町村が多いが、こちらでも当初から保育ができる部屋という一面はあり、それだけでなく生活に係る様々な視点も含め「生活室」となった。昭和70年代三多摩の公民館活動が非常に活発だった頃に議論を重ねて決定した経緯がある。

平井委員	以前、催し物を開こうとした際に保育室がないために開催を断念したことがあった。「生活室」となったとしても「保育室」としての役割を優先していただけると助かる。
浅野副委員長	部屋の優先順位の話も前回出ていたが、必要であると思う。保育室というと誤解される方もいるので、あるところではあえて「公民館保育室」としたところもある。 利用する方々が、生活室は活動するお母さんが連れてきたお子さんを預かる場所であるという共通認識をもたれば、それを「生活室」と呼んで幅広く使うというのが宜しいのではないか。
雫委員	「家事実習室」の方が実態がよく分かるのではないか。
多田委員	既に三館で「家事実習室」としている。
雫委員	「食のスペース」では実感がわからない。
浅野副委員長	まず生活室の方は「生活室」でよいのか、よければ次に食のスペースをどう呼ぶのか、「生活室A・B」或いは「家事実習室」がよいのかを決めていきたい。
伊藤委員	「生活室A・B」でよいのではないか。
仙波委員	「生活室」だけでは分かりにくいので括弧書きで保育とか付け加えたらどうか。
浅野副委員長	予約をとる時にはそのようにしなければ駄目だと思う。
多田委員	家事というのは保育や食事なども含むので「家事実習室」の方がよいのではないか。
浅野副委員長	他の公民館の家事実習室は調理実習台がきちりあって、料理教室みたいなイメージがあるが、それとは異なる設えである。
桂委員	「家事実習室」というと調理室というようなかたちになるが、これだけ部屋数が少ない公民館となると、部屋が空いていない時にはこの部屋に廻されることになると思う。ちょうど会議が出来るので、会議室として使われる方が多いのではないか。「家事実習室」とはせずに「生活室」として保育も家事実習も出来るということにしてはどうか。
福島委員	基本的にはすべて生涯学習的なものだと思っているが、名称は一つか二つくらいに絞った方が利用者にも分かりやすいと思う。 以前マージャンの出来る部屋の話も出ていたが、そういった部屋は実習とかを使わない方がよいと思うので、広く言えば生涯学習のようなものなので「生活室」でよいのではないか。
浅野副委員長	「生活室」としてA・Bで仕切るようなことで宜しいか。
前川・橋本	例えば畳のある方を「生活室A」、食のスペースと言われてきたところを「生活室B」として、個別にも一体でも借りられるようにすることでよいか。
浅野副委員長	そういうことにさせていただく。
藤井委員	オープンすると予約システムで予約することになると思うが、生活室A・Bを個別に借りたり、一体で借りたりすることはシステム上可能なのか。

渡辺事業係長

可能である。

● I T ルーム
浅野副委員長
前川・田中
浅野副委員長

特に皆さんからのご意見はないので「I T ルーム」で宜しいか。

I T ルームを小分けにする必要があるかどうかお聞きしたい。

I T ルームを間仕切りで20㎡と20㎡の二部屋に仕切る必要があるかどうかということです。

多田委員
浅野副委員長
平井委員

ここだけ「ルーム」にするのか。「室」にはしないのか。

小部屋にするかどうかによっても室名が変わる可能性はある。

I T ルームはちょっとした打合せにも使えるのか、それともI T 以外の目的には使えないのか。

浅野副委員長

空いていれば使えると思う。仕切って少人数で使える部屋を二つつくるかどうかを検討してほしい。

平井委員
浅野副委員長

仕切れて「I T ルームA・B」でよいと思う。

他の部屋は「室」と言っているので「ルーム」ではなくて「室」とするかどうかについては如何か。

特に異論がないようなので「I T ルームA・B」とする。

●創作室

浅野副委員長

これについては幾つかご意見があり、「実習室」「工作室」「創作の部屋」「陶芸工作室」「学びと創作ルーム」「アーツアンドクラフト」という案も出ている。

幅が一番広いのは「創作室」だと思う。

平井委員

あるところでは「陶芸工作室」となっていたが、「創作室」であれば更に幅があってよいと思う。

渡辺委員長

「創作室」ならばそこで俳句の会でも創作活動だし、陶芸以外のことにも使える。陶芸の方も使えてよい名前だと思う。

浅野副委員長

「創作室」に決定します。

渡辺委員長

あまり使われていないのではないか。

浅野副委員長

先進例ではある。

●レクリエーション室

浅野副委員長

ここについては「多目的室」「レクホール」「エコホール」という案も出ている。

多目的ホールというのも一時期流行ったが、今はあまり使われていないのは、何をやっているのか分からないというのがある。

公民館の広い部屋を公民館ホールという言い方もあって、いわゆる普通のホールと違って色々な使い方をするという意味を含めて、ホールと呼んでいるが、それにレクリエーションを付け加えたり、地名など独自の名前をつけることもある。

渡辺委員長

ダンス以外に講演会なども開かれると思うし、天井も高いので「貫井ホール」のようなそういう名前でもおかしくないかもしれない。

浅野副委員長 「北ホール」とか。
 藤井委員 レクリエーションという言葉自体先生方も使われているのか。
 浅野副委員長 最近はあまり使っていない。
 藤井委員 使われていないのであれば、今の「北ホール」とかでもよいのではないか。
 多田委員 緑センターでは「レクリエーション室」になっている。
 藤井委員 あそこができたのが平成3年くらいなので、まだその頃は使われていたと思うが、新しい公民館として新しく名前をつけるということからも「北ホール」というのはよいと思うが。
 仙波委員 北町（まち）は貫井北町にしかないので「北町ホール」ではどうか。
 浅野副委員長 他は本町も南町すべて「ちょう」と読む。
 浅野副委員長 それでは「北町（まち）ホール」とする。

●若者のスペース

浅野副委員長 先程、コーナーでよいのではないかという話も出ました。
 そのまま「若者コーナー」というのもある。
 仙波委員 入口の仕切りをとればコーナーになる。
 浅野副委員長 出していただいた案には「学習室E」というのもある。
 今日時点では暫定的な決定で構わないと思う。
 「若者コーナー」で宜しいか。
 特に異論がないようなので「若者コーナー」とする。

●楽器練習室

浅野副委員長 ここについては「スタジオ」「視聴覚練習室」「練習室 響」という案が出ている。
 藤井委員 楽器をやる人からすれば「スタジオ」だと思う。
 浅野副委員長 「スタジオ」という名前は多い。
 渡辺委員長 若者は「スタジオ」と呼びたいのではないか。
 浅野副委員長 皆さんのご意見で「スタジオ」とする。

●フリースペース

浅野副委員長 ロビー的なところを「フリースペース」と呼んでいるところは少ないので、これは小金井方式ではないかと考えている。
 渡辺委員長 自由という意味もあり、無料という意味もあって、私はよい名前だと思う。
 浅野副委員長 予約が必要ない、フリーであるという意味もある。
 平井委員 予約がいらぬというのはとても魅力である。
 浅野副委員長 「フリースペース」とする。

●団体利用コーナー

浅野副委員長 「団体室」や「団体活動室」といった名前がある。
 多田委員 今まで通り「団体利用室」でよいと思う。

浅野副委員長
前川・田中
浅野副委員長

ここは室になっているのか。
オープンになっている。
「団体利用コーナー」で宜しいか。
個人利用と団体利用をここで使い分けできると思う。
数人が囲める大きなテーブルがあるかたちだと思う。

三島委員
多田委員

この団体利用コーナーは予約が必要なのか。
すべての公民館にある団体専用のロッカーのところがこのイメージだと思う。

前川・田中

例えば学習室でこのような会議をする前にコピーをとったり、準備をするスペースとして考えている。

平井委員

色々な団体の方が利用して、色々な出会いがあり交流の場となるので「利用者交流コーナー」という名前も書かせてもらった。

浅野副委員長

ここに置くのは団体やサークルで使うロッカーで、個人用ではないのではないか。

平井委員

団体で使うもので、かなりの数が必要なもので、まだ小さいように思う。

前川・橋本

その施設を頻繁に利用される団体のためのコーナーということだと思うが、占有は出来ないので共有する使い方の問題もあり、一般利用とは若干異なる利用形態だと思う。もし小さければ大きめの仕切りにすればよい。

平井委員

もう一つの大事な役割としては、チラシ等を作っても手渡す場がないので、そこに入れば誰でも受け取ることが出来るようなものがほしい。

前川・橋本

おそらく団体コーナーの裏側には、各団体のチラシが配布できるような設えも必要になると思う。

渡辺委員長
平井委員

ポストみたいなものか。
そういったことも含めて大事な場所で、場合によっては開かれていれば他の人が覗いたりして一つの魅力になるかもしれない。
とても大事な場所で、場合によっては開かれていれば他の人が覗いたりして一つの魅力になるかもしれない。

渡辺委員長
浅野副委員長

呼びやすい名前で「団体コーナー」というのはどうか。
それでは「団体コーナー」で宜しいか。
特に異論がないので「団体コーナー」とする

渡辺委員長

本日決定した内容で修正していただき、しばらく使ってみて皆さんが違和感を感じられないか確認して、だんだん定着していけばよいと思う。

●決定内容

学習室A・B／学習室C・D→学習室A・B／学習室C・D
生活室／食のスペース →生活室A・B
ITルーム →ITルームA・B

創作室	→創作室
レクリエーション室	→北町ホール
若者のスペース	→若者コーナー
楽器練習室	→スタジオ
フリースペース	→フリースペース
団体利用コーナー	→団体コーナー

3 次回の開催日程について

山崎庶務係長 お忙しい中、委員の皆さまに貴重なお時間を割いていただき、熱心なご意見をいただき、本日までで7回目の検討委員会を重ね、おかげさまで大分まとまってまいりました。ありがとうございます。

第8回市民検討委員会は、1月23日（日）午前10時から市役所第二庁舎8階801会議室にて開催する。

今回は、これまでの検討内容をまとめ、印刷業者に発注する前の最終確認をしていただくことになる。

2月は印刷に要する期間をいただき、3月の開催日に完成した報告書を配付する予定である。当初の予定の第2水曜日か第4日曜日のいずれかで予定しているが、進捗状況により調整を要することもあるため、詳しい日程は次回の検討委員会でお知らせする。

渡辺委員長 皆様のご協力で大きな方向付けが出来ました。
設計事務所の方もお疲れ様でした。
今回はまとめの回になりますが宜しくお願いします。

(仮称) 小金井市貫井北町地域センター建設
第7回市民検討委員会次第

日 時：平成22年12月8日（水）
午後 7時～
場 所：市役所第二庁舎8階
801会議室

- 1 前回の質問事項等について
- 2 基本設計について
 - (1) 全体配置・平面について
 - (2) 主な仕様、仕上げ材料について
 - (3) 公民館諸室の構成、用途、大きさ、設えについて
 - (4) 環境への配慮について
- 3 次回以降の日程について
- 4 配付資料
 - (1) 質問事項回答一覧（12/5まで受付分） …資料 23
 - (2) 全体配置平面図 …資料 24
 - (3) 仕様・仕上、公民館部門 諸室の構成 等 …資料 25

質問事項回答一覧 (11/28~12/5受付分)

平成22年12月8日配付

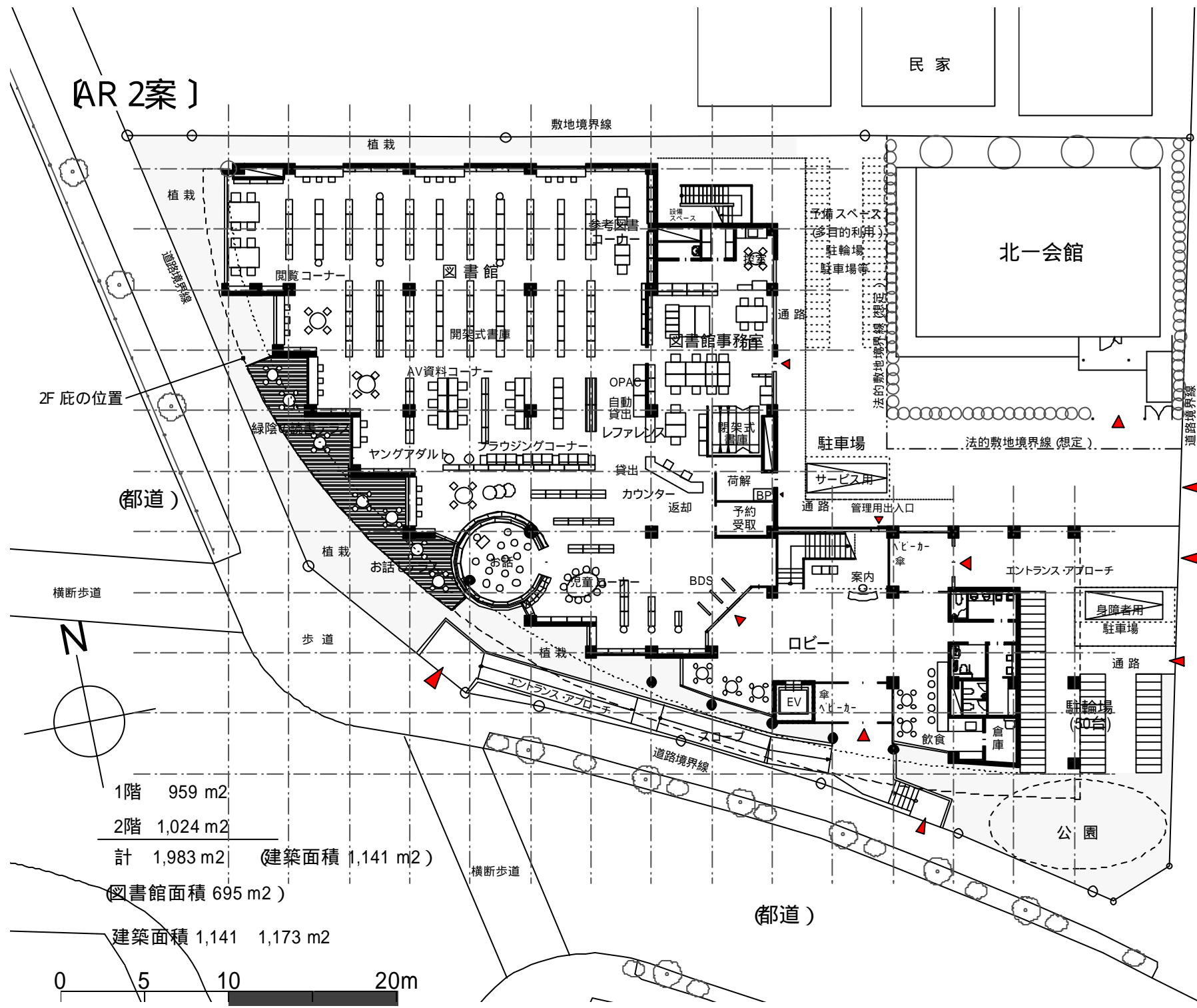
No.	受付日	質問者	質問事項	回答
7	11月28日	百瀬和浩	ヒートアイランド現象の緩和のために屋上緑化を増やすべきとの委員長の御発言がありましたが、緑化が必ずしも緩和に寄与していないとの研究もあります。ヒートアイランド減少対策は公共建築として極めて重要ですので、緑化の在り方もふくめて十分な御検討をお願い致します。	ヒートアイランド現象など地球温暖化対策だけでなく、緑を創出することは、良好な環境に寄与するものと考えています。緑化の手法は十分な検討を加えていきます。
8	11月28日	百瀬和浩	構造計画の中で、一般的な建物より安全性を高めた計画との事ですが、具体的にはどの程度(数値的に)の考えをお持ちでしょうか。	地域住民が集まる公共施設であるため、官庁施設に対する基準である「総合耐震計画基準及び同解説」の耐震安全性の分類として、大地震後に構造体の大きな補修をすることなく使用できること、人命の安全確保に加えて機能確保が図られることを目標にする「Ⅱ類」と同等の耐震性を目標としています。本建物の重要度係数I=1.25を採用し、建築基準法で定められている地震力より25%割増した地震力にて設計を行うことで、通常の建物より高い耐震性を確保するように考えています。
9	11月28日	百瀬和浩	太陽光発電ですが、10kw程度では建物全体を賄えないと同時に電力会社への売電はできないと考えられます。費用対効果を十分に検討の上ご採用ください。新エネルギー利用の前に自然のエネルギー(光・風)利用を考慮した計画をすべきと考えておりますが、いかがでしょうか。経済的な点と同時に環境負荷の低減を最優先に御検討下さい。	太陽光発電の設置は、地球温暖化対策を率先して実行する意義からも重要であると考えています。自然エネルギーの利用については、ハイサイドライト等自然光、風を室内に取り入れる構造の設計等の工夫もし、今回の検討課題として取り組んだ設計素案となっており、市民検討委員の皆さんのご意見も伺いながら検討していく所存です。

質問事項回答一覧 (11/28~12/5受付分)

平成22年12月8日配付

No.	受付日	質問者	質問事項	回答
10	11月28日	百瀬和浩	給湯が電気との事ですが、エネルギー効率を最優先に御検討下さい。	給湯については、電気、都市ガスといった方式の違いにより長所、短所がありますので、施設にあった方式を取り入れていきます。この程度の規模（給湯使用範囲）での利用頻度では、電気による給湯でもエネルギー効率上貢献できると判断しております。
11	11月28日	百瀬和浩	雨水利用を考えておられますが、散水程度の利用ではなく、もっと積極的に利用する考えはございませんか。	雨水の利用方法は、一般の人でも利用し易い簡易タンク式の散水程度と考えております。又、浸透柵や透水性のある舗装の採用も検討しています。

〔AR 2案〕



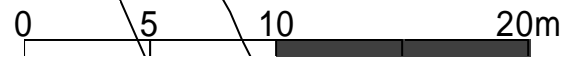
- 駐輪場：50台
- 駐車場：2台
- ・身障者用：1台
- ・サービス用：1台
- 予備スペース(多目的利用)
- 予備駐輪場：50台
- 予備駐車場：メンテ、行事等

1F

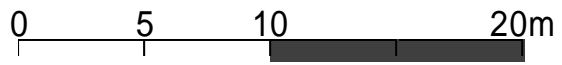
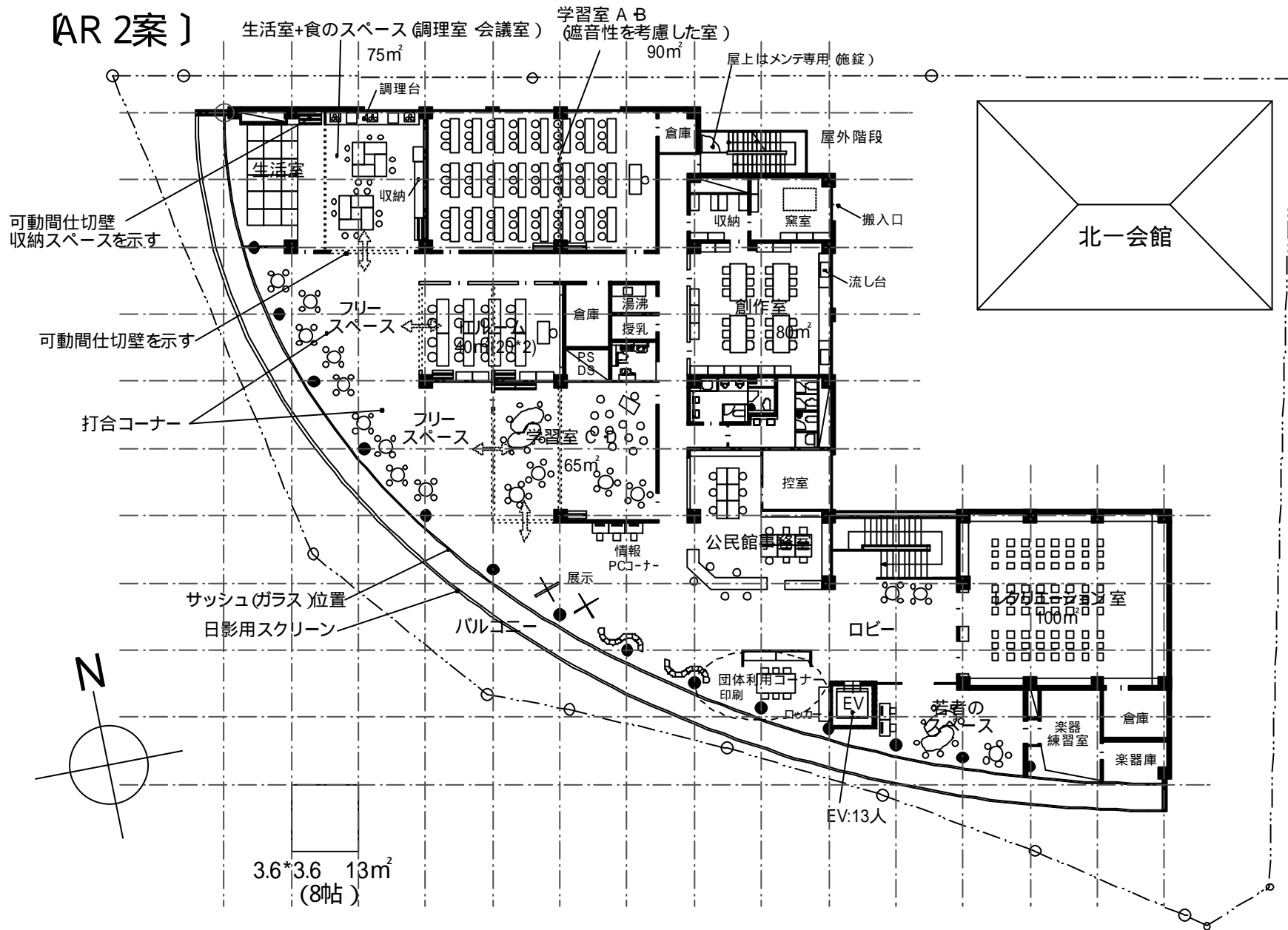
1階 959 m²
 2階 1,024 m²
 計 1,983 m² (建築面積 1,141 m²)

(図書館面積 695 m²)

建築面積 1,141 1,173 m²



〔AR 2案〕



2 基本設計について

(2) 主な仕様、仕上材料についての検討

1) 1階： 共通ロビー・図書館

・ 主な仕様、仕上材

共通ロビー 床：タイル・石材 →屋外からの入口部：汚れに強い、耐久性のある材料

図書館 床：タイルカーペット →吸音性のある材料

お話コーナー： コルクタイル、タイルカーペット

屋外テラス： ウッドデッキ

2) 2階： 公民館

・ 諸室の構成、用途、大きさ、設え 図面と模型(1/50)にて協議

床の仕上、構成

汚れや水に対処しやすい材料： 長尺床材 リノリウム、塩ビ系、ゴム系

ロビー、 フリースペース

創作室、 食のスペース

若者のスペース

水廻り： WC、 湯沸室 (1階も同じ)

倉庫

吸音性のある材料： タイルカーペット

学習室、 ITルーム

事務室

その他 生活室： 畳(35cm程度床上：腰掛られる高さorフラット)+縁側

レクリエーション室： フローリング

楽器練習室： コルクタイル、ゴムタイル

壁面の構成(間仕切壁、扉の種類)

ボード・金属： 不透明パネル、 必要に応じ吸音パネル

室内(活動)の様子が解る

ガラス： 透明パネル

室内(活動)が見えにくい・見えない

ボード・金属+ガラス： 不透明(腰壁)+透明パネル

ガラス： 透明パネル+例：目線位置に曇りガラス風フィルム

天井： 吸音性のある材料

・ 諸室の室名について

■ 環境への配慮

- ・ 太陽光発電 採用していく方向で進める
設置可能スペースと建物高さ(法規)より、100枚程度の配置が可能
最大 20 kW 程度の発電

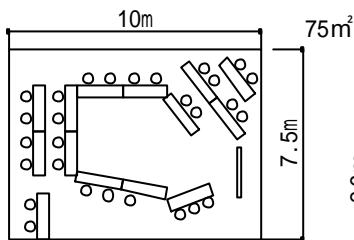
- ・ 緑化
 - 屋上緑化 太陽光発電パネル配置の確保を優先し、沿道側の緑地面積幅を増やせるか検討していく。
 - 地上緑化 2階の庇下部もふくめ、緑化面積を増やしていく。
庇下部は、日影や乾燥に強い地被類等を選定し、管理しやすい灌水方法も検討していく。
 - 壁面緑化 バルコニー下部等にてワイヤー張りによるツタ類の栽培が可能なような設えとする

- ・ 雨水浸透、利用 浸透枳、透水舗装
雨水利用は、一般の人たちでも利用し易いタンク式の方式を検討していく。

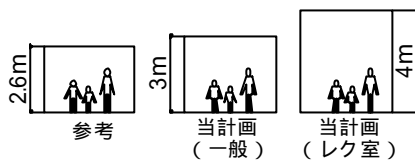
公民館部門 諸室の構成： 用途、大きさ、室名について

全体的な配置（各諸室の配置関係）は、別図（2階平面図）による
各諸室とフリースペースとの連携利用

参考：市役所第二庁舎8階 801会議室



天井の高さ

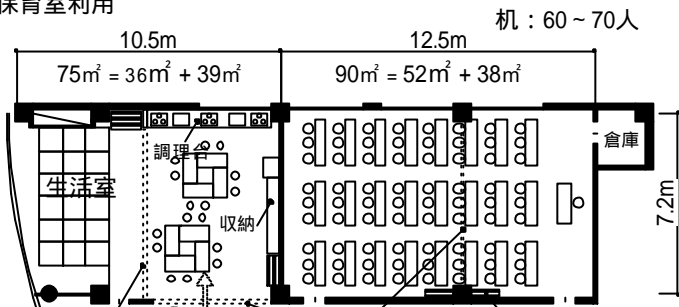


[室名について]

- ・学習室 A・B
- ・学習室 C・D
- ・食のスペース
- ・生活室
- ・ITルーム
- ・創作室
- ・レクリエーション室
- ・若者のスペース
- ・楽器練習室
- ・フリースペース
- ・団体利用コーナー

生活室+食のスペース
調理実習（打合室利用可能）
+保育室利用

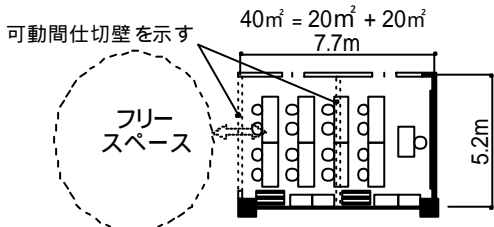
学習室 A・B（遮音性を考慮した室）
：集会、講座、学習、視聴覚室



可動間仕切壁を示す
フリースペース
可動間仕切壁を示す
可動間仕切壁
収納スペースを示す

ITルーム

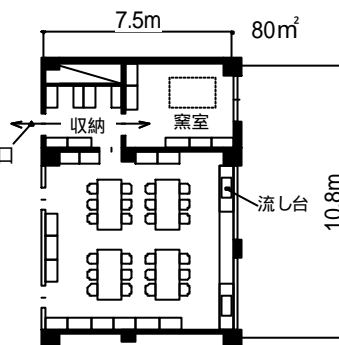
：集会、講座、学習、打合スペース



可動間仕切壁を示す
フリースペース

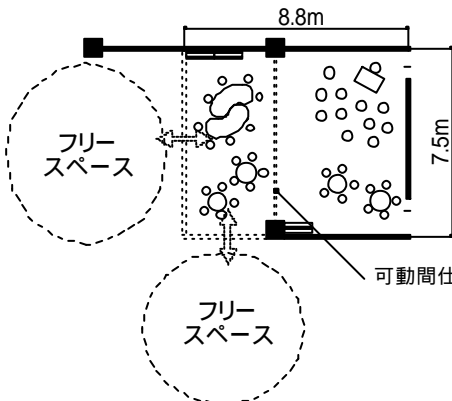
創作室（打合室利用可能）

：絵画、工作、陶芸、科学、他



学習室 C・D

：集会、講座、学習、簡易な視聴覚会議
（白い壁を利用したプロジェクター映写）
65m² = 27m² + 38m²



フリースペース

フリースペース

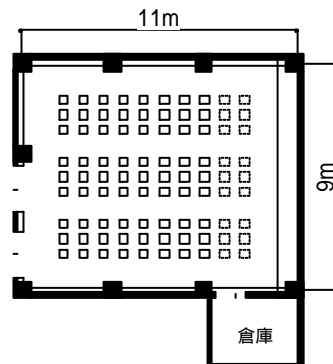
可動間仕切壁を示す

レクリエーション室

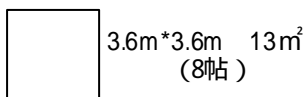
（遮音・振動音を考慮した多目的スタイル）

：集会、講座、視聴覚、演劇、ダンス、体操、他

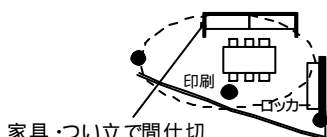
椅子：70～100人
100m²



大きさの目安



団体利用コーナー



家具・つい立てで間仕切

若者のスペース

56m² = 37m² + 19m²

